

死亡診断書(死体検案書) 正しく書けていますか？

How to write a correct death certificate and why?

飯塚病院総合診療科

吉野 俊平

Shumpei Yoshino

Department of General Medicine, Aso Iizuka Hospital

対象者 医師, 若手医師 (卒後16年以内), 後期研修医 (卒後3年以上), 初期研修医 (卒後1-2年目), 学生

Target Doctor, Early Career Physicians, Senior Resident, Resident (1-2 years after graduation), Medical Student

医師臨床研修制度では研修医が到達すべき目標(臨床研修の到達目標)が定められていて、死亡診断書(死体検案書)の作成も経験すべき診療法・検査・手技の必修項目として含まれている。厚生労働省の発行する死亡診断書(死体検案書)記入マニュアルを参考に作成すべきだが、遭遇する臨床状況に即したより具体的な“書き方”が求められる。ここではマニュアルの内容を遵守しつつ、私達が判断に迷う臨床状況においてどのように作成すべきかを提案する。特に死亡の原因と死因の種類、死亡診断書と死体検案書の使い分け、異常死体の届け出について症例をもとに作成のポイントを説明する。